

平成29年度 事業報告書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

学校法人牧野学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 牧野学園（平成3年5月7日法人設立）

代表者 理事長 富田 重雄

住 所 枚方市牧野阪2丁目19番21号

電 話 072-857-7227

FAX 072-857-7327

設置する学校

住 所 枚方市牧野阪2丁目19番21号

名 称 牧野幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 19名

2. 事業概要

（ 牧野幼稚園 ）

《教育方針》

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていくアットホームで笑顔の絶えない幼稚園です。

《教育内容》

正課では体育・英語・絵画造形教室の先生に来て頂き色々な経験をします。また運動を通して、「体力・集中力・反射神経・忍耐」作りをし、ひらがなや数字等簡単な英語も楽しみながら学びます。

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	3	70	2	70	2	70	7	210
28年度	3	60	2	69	2	70	7	199
29年度	3	70	2	66	2	70	7	206
30年度	3	70	2	70	2	69	7	209

《保育時間》

月～金曜日 午前10時00分～午後2時

土曜日 休園

《納付金》

保育料 年額240,000円（12分割均等納付）

教材費	年額	24,000円	(12分割均等納付)
冷暖房費	年額	5,200円	
給食費 週4回	月額	2,800円	
バス利用料	月額	3,500円	

《入園時の費用》

入園料	3歳児	60,000円
	4歳児	40,000円
	5歳児	20,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後2時～午後6時00分

夏冬春休み中の預り保育は午前8時～午後7時

月払い 500円～5,000円 日払い50円～500円

《行事实施状況》

春・秋の運動会、夏まつり、芋ほり、バザー、買い物ごっこ、春・秋の遠足、園外保育、生活発表会、クリスマス会、お餅つき、お別れ遠足、

《施設関係》

園地面積 1,201㎡ 運動場面積 721.6㎡

園舎延べ床面積 832.4㎡

遊具保守・点検。

《設備関係》

遊具（クライムツリー）を取得。ピアノ調律。消防設備点検・保守を実施。

《事業報告》

平成29年度の事業は、前年度より園児が7名増加し、保護者の協力を得て従業員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

さて、政府は、待機児対策を期待して、平成27年度に認定こども園をスタートさせていたが、平成28年度から企業主導型保育事業をスタート、今年度より、私立幼稚園での一時預り事業の充実を進めることが発表となり、待機児対策を強気に押し進めている。この矢継ぎ早の流れに、内容の理解が進まず、ポジティブな対応を多くの園がとることができていない状況にある。更に、政府は、保育士不足から、保育士資格者の配置基準の緩和を進め、子育て相談員（市町村長等が行う研修を修了した者）を職員資格に加え、専任教諭の専念義務の緩和と受け取れる状況を認めようとしている。一方、大阪府は、この状況を把握しているにも関わらず、森友問題を契機に監査グループを設置し、補助金調査の厳格化を進めようとしている。

以上のことを踏まえ、当園としては、新事業への理解を深め、事業継続を語るため、5年後の事業を想定し、中期事業計画を作成する。また、補助金調査へしっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努めることとする。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容

を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が130,296千円（対前年比0.55%増）、教育活動支出計122,403千円、教育活動収支差額7,892千円のプラスと前年度より減額、経常収支差額比率は6.15%のプラスと、安定した経営財務状況を継続することができた。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、56.37%となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を上回っているため、資金繰りは問題ない。

新年度、園児数は前年度より3名増加するので、安定した財務状況を継続することができる。

また、当年度の卒園児は69名であるため、70名の園児確保を目指す。

3. 財務状況

別紙参照。